



撮影＝齊田 勤
photo by Saïda Tsutomu
中央区銀座5丁目の寿司店
「銀座 壮石」にて

篠原欣子さんを囲む会



壮石店長の紅林俊英氏を背に、前列左から、矢萩春恵（書家）、レイコ B・リスター（エル・インターナショナル社長）、篠原欣子（テンプホールディングス会長）、佐川八重子（桜ゴルフ社長）、柳内光子（山一興産社長）、中西春美（成増運輸会長）、後列左から、手島京子（サン・エンジニアリング社長）、原田純子（メルヘン社長）、笹川祐子（イマジンプラス社長）、島田薫（聖徳大学教授）

テ
ンブホールディングスの篠原さんの会長就任を機に、昔から親しい経営者が集まって、ご慰労懇親会を開催しました。若手経営者も含めて約30名が集い、代表として幹事9名と篠原さんで写真に納まりました。

篠原さんにお会いしたのは1985年、取引銀行の紹介でした。丁度その頃、ソフト化、サービス化に伴う産業構造の変化の中、ニュービジネス協議会が発足、同じ会員として時折お目にかかる機会に恵まれました。

初めてお会いした時、篠原さんが「男性社員を入れて組織が

活性化した」「男性はやつぱり頼りになる」とお話をされていたことをよく覚えています。

私も女性だけではなく、男性を入れるべきか悩んでいた時期でしたので参考になりました。

当時は女性経営者が登場し始めた時で、関西ではアートコーポレーションの寺田さん、東京ではテンプスタッフさん、それに経営者としては創業が早かった私も桜ゴルフが注目され、マスコミでも話題になりました。

いち早く寺田さんは上場を果たされ関西経済同友会の代表幹事として活躍もされ、女性起業家の社会的地位を上げられました。その後、篠原さんが大きな期待のもと、平成18年にテンプスタッフを上場、売上げ3600億円に達する企業に会社を成長させました。篠原さんは、私たち女性起業家のお手本であり、誇りです。大変な働き者である篠原さん、そろそろ力を抜いて、お身体を休め、一緒に遊びましょうと申しあげたい。

篠原さんは、どんな時でもポジティブで明るく、弱音を吐いている姿を見たことがありません。しかし今日に至るまでには口には表すことのできない試練

の日々もあったと思われます。これまでの道のりは日経新聞の「私の履歴書」に書かれておりましたが、私たちが日々直面するような問題に篠原さんも取り組まれていたことを思うと、皆親近感を持たれたのでしょうか。

楽しい懇親会は4時間にもわたり、お花とスカートのプレゼンに篠原さんは少女のように喜ばれました。女性経営者のための養老院をつくりましょうと提案しましたら「シニアハウスね」とたしなめられ、私も賛成ですと言われました。もしかすると実現するかも――。（佐川記）